

フランス国立図書館・国立文書館 建築の伝統と革新からみる資料保存



フランス国立文書館新館 (ピエールフィット=シュル=セヌ館)
Project by Massimiliano and Doriana Fuksas - ©Yashiho Kikkawa

フランスは世界で最初に納本制度を導入し、また近代的文書館制度を先駆的に確立した国として知られています。その伝統を継承して、フランスの国立図書館と国立文書館は、史資料の管理・保存のため、これまで建物の増築、改修を繰り返してきました。そして、国立図書館は1990年代にフランソワ・ミッテラン館、国立文書館は今世紀に入ってピエールフィット=シュル=セヌ館を新設。

これらの館の実情に詳しい講師から、国立図書館・国立文書館の建物の側面及び変化する資料保管条件・国際規格の観点から、史資料の保存と活用の過去・現在・未来について講演していただきます。

講師：吉川也志保 氏

一橋大学言語文化研究科特別研究員
専門：文化財保存学



フランス国立図書館リシュリュー館
撮影：吉川也志保 2004年2月4日
(21世紀の大改修前)

日時：2018年1月20日(土) 14:00~16:00
会場：日仏会館501号室 参加無料・要申込



どなたでもご参加いただけます。(定員50名・先着順)
名前、所属を明記の上、下記までメールでお申込みください。
日仏図書館情報学会事務局：sfjibdoc@yahoo.co.jp

日仏会館 〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿3-9-25

【交通アクセス】
・JR山手線：恵比寿駅東口下車
恵比寿ガーデンプレイス方面へ 徒歩10分
・東京メトロ日比谷線：恵比寿駅1番出口
アトレ・JR恵比寿駅東口を經由 徒歩12分

日仏図書館情報学会事務局 (日仏会館内)
Tel: 03-5421-7643 Fax: 03-5421-7653